

平成 30 年度公益財団法人鳥取童謡・おもちゃ館事業計画書

基本方針

当財団は、多様化する県民の文化に対する要求に応えるため童謡・唱歌やおもちゃを通じた各種文化事業を行い、もって童謡・唱歌やおもちゃをテーマとした特色ある地域文化の振興に資することを目的として、鳥取県と鳥取市の出捐により平成 6 年に発足しました。平成 7 年 7 月 7 日に「わらべ館」が、鳥取県立童謡館及び鳥取市立鳥取世界おもちゃ館の複合文化施設として開館してからは、県並びに市より館の運営を任せられ、以来今日に至るまで 20 余年に亘って、わらべ館を拠点に童謡とおもちゃをテーマとした文化事業を実施し、地域文化の発展に尽くして参りました。

財団の基本理念としては、公益法人としての責務である不特定多数の利益の増進を法人の原則的な行動指針としております。広く門戸の開かれた“うた”と“おもちゃ”の文化事業を提供することを通して、財団の目的である童謡とおもちゃをテーマとした特色ある地域文化の発展に尽くしていきたいと考えております。

わらべ館の運営に際しては、館のキャッチフレーズである「すべての子どもたちと子どもの心を忘れないすべての大人たちのために」を基に、次の 3 点を運営の柱として、利用者に愛され親しまれる施設となるよう全力で取り組みます。

- ・「童謡・唱歌とおもちゃ」をテーマとしたミュージアム
- ・国の内外に誇りうる鳥取の重要な文化観光施設
- ・子どもから高齢者までの重要な生涯学習施設

実施事業（総事業費 174,702 千円）

法人の目的を達成するため、指定管理者としてわらべ館の管理運営を行うとともに、次の事業を実施します。

1. 童謡唱歌に関する事業（公益目的事業 1 事業費 84,617 千円）

（1）童謡唱歌体験事業

童謡唱歌に親しむ機会を提供するため、実際に童謡唱歌を歌ったり聴いたりすることの出来る体験活動を実施します。童謡館で定期、臨時の唱歌教室を開催するほか、希望する団体や施設を募り、現地に出向いてのコンサートを実施するなどして、童謡唱歌の普及と愛好者人口の拡大に努めます。家庭でも唱歌にも親しんでいただくことを目的として、わらべ館のオリジナル唱歌集（一冊 200 円）を販売します。

当年度は、童謡運動の興りとなった雑誌「赤い鳥」が創刊から 100 年を迎えることから、童謡館の基金事業（3,290 千円）として童謡誕生 100 周年の記念となるコンサートを実施します。また、唱歌「故郷」の作曲者 岡野貞一の生誕 140 周年を迎えることから、「童謡・唱歌のふるさと鳥取」企画実行委員会からの委託を請け（1,000 千円）、音楽活

動の年譜と楽譜集、記念冊子の制作及び特別展示等を行います。

(2) 調査研究、資料収集事業

「童謡・唱歌のふるさと鳥取」の拠点施設として、日本の音楽教育の発展に大きな役割を果たした鳥取県出身の三人の音楽家、岡野貞一・田村虎蔵・永井幸次の業績を顕彰し、関連資料の収集を行います。また併せて、本県ゆかりの音楽家や童謡全般に係る資料収集を行い、専門員による調査研究を進めます。

(3) 展示事業

岡野貞一ら鳥取県出身の音楽家の業績を顕彰するとともに、童謡唱歌に対する興味関心を広く一般に喚起するため、常設展のほかテーマを定めた企画展を童謡館で開催します。展示には専門員による調査研究、資料収集の成果を反映し、わらべ館の入館料のみで広く一般に公開します。

2. おもちゃに関する事業 (公益目的事業2 事業費81,048千円)

(1) おもちゃ文化体験事業

おもちゃに親しみ、おもちゃ文化に触れる機会を提供するため、工作や遊びなどの体験型事業を実施します。鳥取世界おもちゃ館を拠点として、おもちゃを使った工作や遊びなどの体験活動を提供するほか、壊れたおもちゃの修理など様々なアプローチにより、楽しみながら学べる環境の実現を目指します。おもちゃづくり体験で販売する工作キットやその他材料代等の徴収に際しては、低廉な価格に設定し、多くの方に参加していただけるよう工夫します。また、手軽に遊べる日本の伝統玩具を紹介するため、逆立ちこまを300円で販売します。

(2) 調査研究、資料収集事業

鳥取世界おもちゃ館の展示の充実を図るため、鳥取県の郷土玩具や資料的価値のあるおもちゃを収集するとともに、専門員による調査研究を行います。県東部だけでなく近隣のおもちゃ作家とも連携しながら、地域性のある特徴的なおもちゃの収集に力を入れます。

(3) 展示事業

「'89鳥取・世界おもちゃ博覧会」を顕彰するとともに、当時の収集資料を活用するため財団が新たに収集した資料も交えて、鳥取世界おもちゃ館において常設展やテーマを定めた企画展を開催します。展示には専門員による調査研究、資料収集の成果を反映し、わらべ館の入館料のみで広く一般に公開します。

3. 法人管理事業 (管理事業 事業費9,037千円)

(1) 財団管理事業

公益法人として関係諸法令に則り、透明性のある法人運営を行うとともに、人材育成に力を入れ職員の知識、技術の向上を図ります。